

失敗を糧に進化する製造DX：

パナソニックグループでの失敗と成功、
そして「IoT×分析×カルチャー変革」戦略

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

PX

Panasonic
Transformation



もくじ

- はじめに：パナソニックグループの目指す「変革」と我々の役割
- 我々が経験してきた**失敗事例**、失敗から得た知見と**成功事例***1
- 失敗を糧に作った**枠組み**：ビジネスアナリシス、データの収集、データの活用、トレーニング
- まとめ：**データドリブン組織**実現に向けて

*1：実際の案件に基づきますが、情報保護の観点から、複数の案件を統合・一部内容を改変しております。

- • はじめに：パナソニックグループの目指す「変革」と我々の役割
- 我々が経験してきた**失敗事例**、失敗から得た知見と**成功事例***1
- 失敗を糧に作った**枠組み**：ビジネスアナリシス、データの収集、データの活用、トレーニング
- まとめ：**データドリブン組織**実現に向けて

*1：実際の案件に基づきますが、情報保護の観点から、複数の案件を統合・一部内容を改変しております。

お客様サービス DX

デジタル技術を活用して
「暮らし」と「しごと」にお役立ちをご提供
幸せの、チカラに。



×

=

事業オペレーション DX

ITの変革

オペレーティング・モデルの変革

カルチャーの変革

デジタルと人の力で
「暮らし」と「しごと」を
幸せにする。

PX

Panasonic
Transformation

パナソニックグループは、「全社員が、当たり前」にデータ活用」する組織へ

パナソニック インフォメーションシステムズ[IS]

パナソニックグループのIT中核企業として
ビジネス要件の理解～IT構築～運用まで担う



パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社 製品・サービス
[<https://service.is-c.jpn.panasonic.com/>]

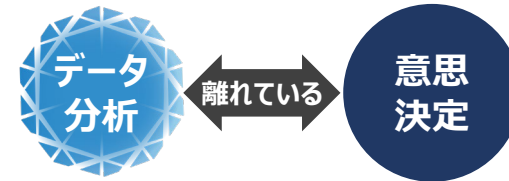


データ&アナリティクスソリューション本部

あるべきデータ活用のワンストップ提供で
パナソニックグループの意思決定を迅速化

従来のデータ活用

- ✓ 専門家による分析
- ✓ 限定的なデータ活用



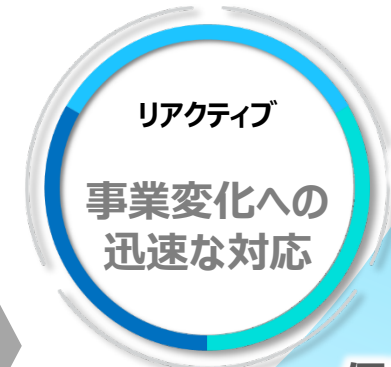
あるべきデータ活用

- ✓ 現場による分析
(「事業理解」に基づく「データ分析」)
- ✓ 常時データを活用
(「分析」と「意思決定」の一体化)



どうすれば
実現できるか？

何が起きるのか？



なぜ起こったのか？

何が起きているのか？

もくじ

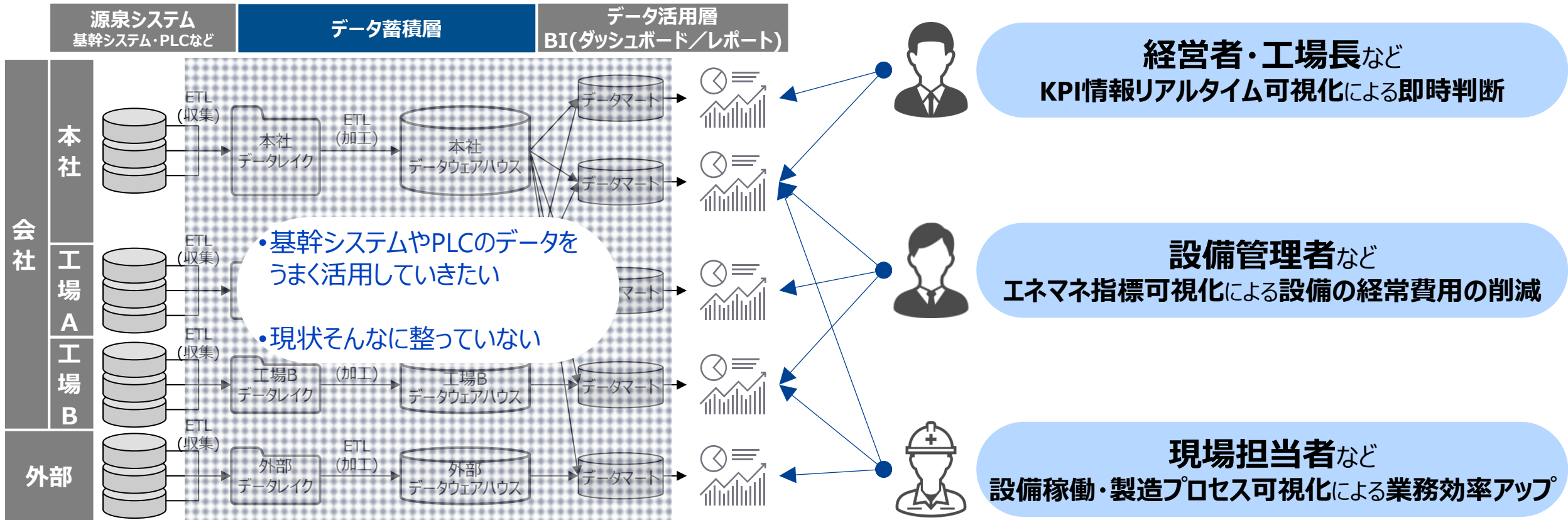
- はじめに：パナソニックグループの目指す「変革」と我々の役割
- • 我々が経験してきた**失敗**事例、失敗から得た知見と**成功**事例*1
- 失敗を糧に作った**枠組み**：ビジネスアナリシス、データの収集、データの活用、トレーニング
- まとめ：**データドリブン組織**実現に向けて

*1：実際の案件に基づきますが、情報保護の観点から、複数の案件を統合・一部内容を改変しております。

- 普段から各自で分析しており、必要なKPI・設備の稼働状況など要件はある程度把握している。
- **データ収集とデータ活用の両立が課題**となると認識し、先方のDX推進メンバーと調整を進めた。

現場の設備稼働状況

各メンバーがやりたいこと



- 取組の結果：当初目論んでいたデータ活用の姿を達成できず、**失敗**。
- 最大の要因：収集に手間をかけすぎ、**データ活用の検討**にリソースを割けなくなった。

- 現場担当者と弊社との橋渡しとして**先方社員が旗振り役**を担い、現場のニーズを把握した。
- データ収集～現場で必要な要素の可視化設計～重要KPIの設定まで**包括的に計画を立てて**実行した。



現場の方の思い(ヒアリング)

工程①

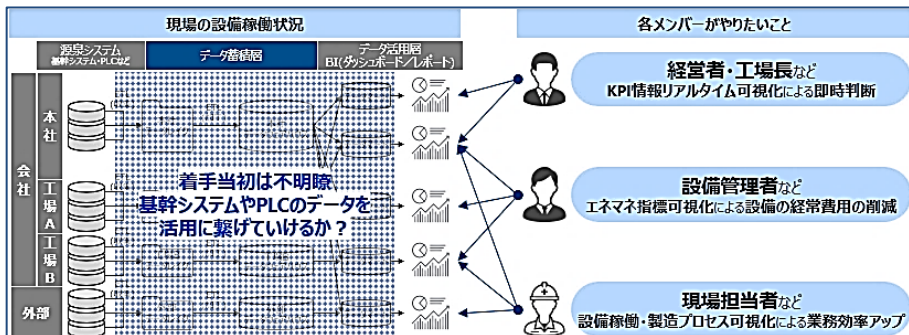
- 測定データと結果データを合わせて分析したい。
- 稼働チョコ停は週次・月次サイクルで傾向分析したい。

工程②

- 主要な測定値項目を比較分析したい。
- 成形条件の履歴を管理したい。

テーマ	取組内容	担当	Q			Q			Q		
			N1月	N2月	N3月	N4月	N5月	N6月	N7月	N8月	N9月
全体	マイルストーン	-				設備改造完了▶本番利用開始▶ プロト提供開始▶					
稼働改善	工程可視化	先方会社	仕様策定		設備改造データ取得			プロトタイプ使用・評価		現場カイゼン UAT	
		パナソニックIS (IoT・分析)	要件整理 現状データ検証		要件確定	画面設計	プロト提供	本番移行	追加対応等		

- 取組の結果：作成したデータ可視化BIなどが現場に根付かず、**失敗**。
- 最大の要因：旗振り役と現場担当者の温度差が大きく、効果的な**データ活用場面**を作れなかった。



プロジェクトA
収集に手間をかけすぎ、**データ活用の検討**
にリソースを割けなくなった。

プロジェクトB
旗振り役と現場担当者の温度差が大きく、
効果的な**データ活用場面**を作れなかった。

要因

データ活用の検討を進めるうちに「あれもこれも要る」状態に陥る。
しだいに**データ収集が目的化**していき、本質的な**データ活用検討の推進が困難**となっていた。

▶ **データ活用のためのデータ収集**
ができなかった

先方の**DX推進部門メンバー**や**旗振り役**を介して、現場との情報連携を行っていた。
我々の要望・意図が現場に伝わっていないケースが多発し、**コミュニケーションに時間を要した**。

▶ **データ活用業務のあるべき姿**
を示せなかった

現場との直接対話が少ないまま、**現場の課題感・温度感**を掴み切れない状態で実装を進めた。
課題ヒアリングの先「**何がどう分かると嬉しいか、業務が変わるか**」詳細まで整理しきれなかった。

▶ **現場にデータ活用マインド**
を根付かせられなかった

“成功”の定義 … **業務に必要な分析環境(収集や活用)とマインド**を現場に定着させ、**経営成果を創出**すること。

データ活用のためのデータ収集 ができなかった

データ収集はクイックに進め、
データ活用の議論に集中すべき。

日々拡張・変更される会社システムに追従し
データ収集を続ける必要もある。

データ収集には高度な技術が必要だが、
“データ活用業務”の本質ではない。

貴社人員での体制構築は**現実的ではない**。

データ収集IoT+導入サービス による効率的なデータ収集

データ活用業務のあるべき姿 を示せなかった

現行業務にデータ活用を加えるだけでは、
業務負荷自体が増加する。
適切な形での業務タスク置き換えが必要。

また、業務タスクの一部だけでなく
業務プロセス全体の刷新を
視野に入れた業務設計が不可欠である。

ビジネスアナリシス によるデータ活用業務プロセス設計

現場にデータ活用マインド を根付かせられなかった

「弊社が開発し、貴社で使用する」という
役割分担は、導入初期の段階では効果的。

一方で、現場の状況に応じて自ら改良を
加えていかない限り、定着は難しい。

単に提供されたものを使うだけでなく、
データ活用の改善を**自発的に進めていく**
意欲とマインドセットの醸成が必須。

伴走支援+分析トレーニング によるデータ活用マインドの醸成

業務プロセスにデータ活用を融合させ、業務になくてはならない存在へ！

成功事例(業務プロセスにデータ活用を融合) : WIPボード&BI による大部屋活動 11

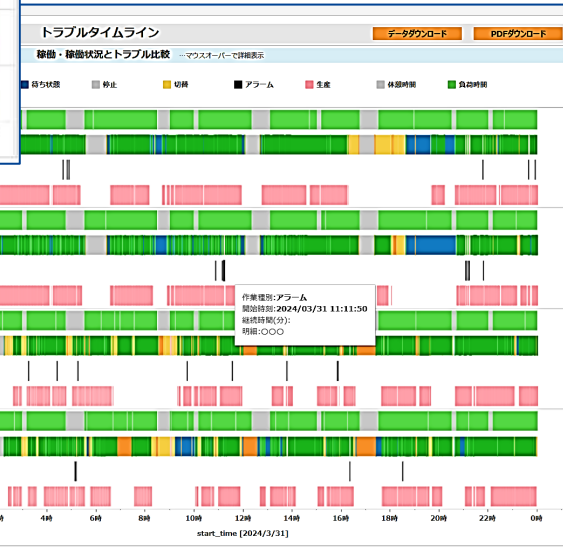
- IoTを使って、製造現場のPLCなどからデータを収集。
- 直接現場に通い、利用場面を想定しながら、現場メンバーと一体となって指標策定・実装を推進。
- 現場メンバーへのBIツールレクチャーも実施。WIPボード×BIツールで、改善活動に関する議論が一層活発に。

大部屋活動



WIPボード

補助ツール : 稼働改善BI (※一例)



全体像の把握↑

主要因を分析→

もくじ

- はじめに：パナソニックグループの目指す「変革」と我々の役割
- 我々が経験してきた**失敗事例**、失敗から得た知見と**成功事例***1
- **失敗を糧に作った枠組み**：ビジネスアナリシス、データの収集、データの活用、トレーニング
- **まとめ：データドリブン組織**実現に向けて

*1：実際の案件に基づきますが、情報保護の観点から、複数の案件を統合・一部内容を改変しております。

単なるツール導入ではなく、**データ民主化**(最適なIT環境整備)&**分析文化の醸成**まで担う。
青掛け項目のうち、本日は**丸付け項目**をピックアップしてご紹介。

初期フェーズ

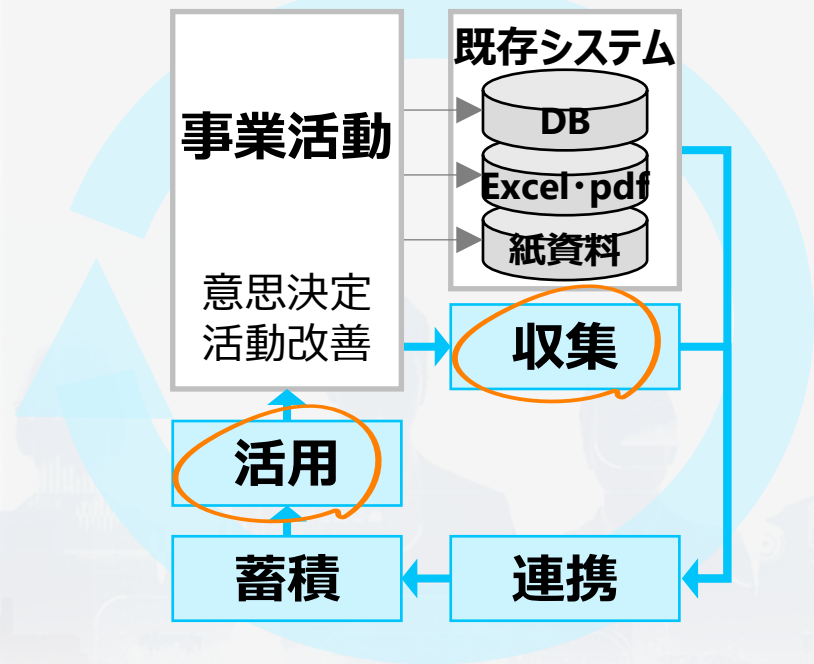
ビジネスアナリシス

- ツールや技術の導入から先行せず、業務ニーズや課題をヒアリング・整理。
- あるべき姿に向けた**ロードマップ**を描き、お客様に適したデータ活用サイクルをご提案。

中期フェーズ

データ活用サイクル構築

- 事業活動の結果を次に**フィードバック**。
- 持続可能な成長への**エンジン**。



最終フェーズ

データ活用トレーニング

- パナソニックグループで培ったノウハウを基に、お客様の社内人材による**データ利活用の自走**を支援。
- 事業活動を自ら改善していく**マインドを醸成**。

データドリブン組織

データ民主化

誰もがデータを
使える状態にある

×

文化醸成

誰もが自らデータで
意思決定を行える



※便宜上フェーズで区切っていますが、実際には同時並行で推進します。

ビジネスアナリシス

初期フェーズ

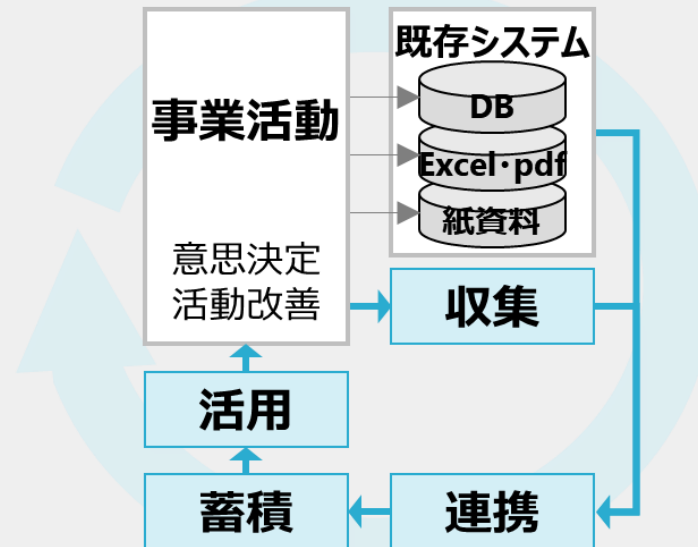
ビジネスアナリシス

- ツールや技術の導入から先行せず、業務ニーズや課題をヒアリング・整理。
- あるべき姿に向けた**ロードマップ**を描き、お客様に適したデータ活用サイクルをご提案。

中期フェーズ

データ活用サイクル構築

- 事業活動の結果を次に**フィードバック**。
- 持続可能な成長への**エンジン**。



最終フェーズ

データ活用トレーニング

- パナソニックグループで培ったノウハウを基に、お客様の社内人材による**データ利活用の自走**を支援。
- 事業活動を自ら改善していく**マインドを醸成**。

データドリブン組織

データ民主化

誰もがデータを
使える状態にある

×

文化醸成

誰もが自らデータで
意思決定を行える



初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

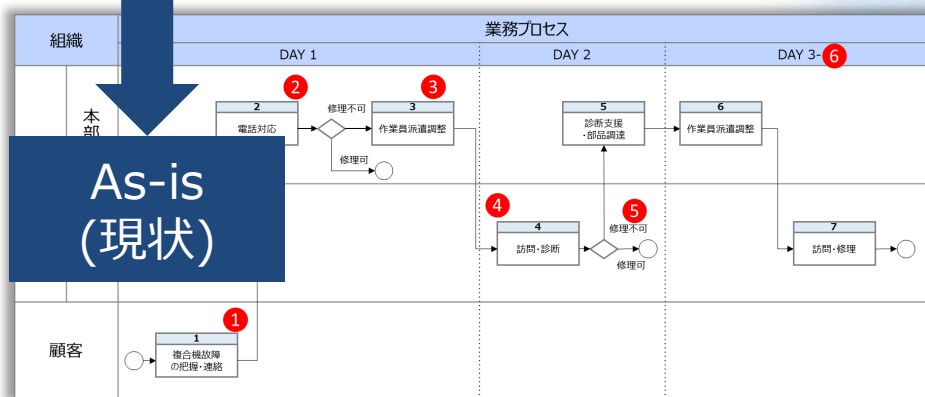
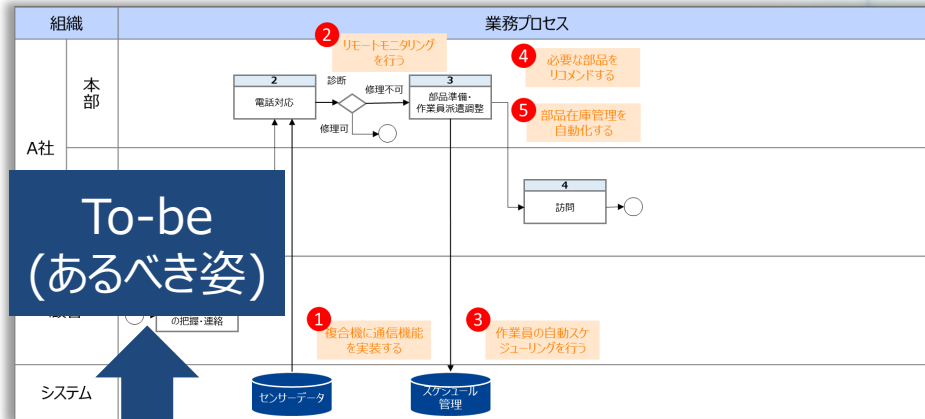
KEY POINT
鍵

現状把握が不足していると 不要な仕組みやシステムの導入に繋がってしまう
 まず最初に お客様に適したデータ活用サイクル実現に向けた**ロードマップ**を描くことが重要
 これが **データドリブン組織への設計図** となる

初期フェーズ
・ビジネスアナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
・トレーニング



原因ID	根本原因	取組ID	取組	取組概要
001	機械に通信機能がない	001	自動モニタリング・予知保全の実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 複合機に通信機能を実装し、センサーデータを収集・蓄積・分析する ● 異常を探知し、アラートを挙げる ● 蓄積したデータで予知保全を実施する
002	リモートで機械をモニタリングする機能がない	002	必要な修理の特定・適切な部品の選択	<ul style="list-style-type: none"> ● センサーデータから故障診断を行う ● 修理に伴う適切な部品をレコメンドする
003	自動診断機能がない/精緻化されていない	003	部品在庫の最適化	<ul style="list-style-type: none"> ● 部品データを蓄積し、在庫数を最適化する ● 部品の利用に応じて自動的に調達する
006	作業員の担い手がいないため、待遇を上げざるを得ない	004	作業員のスケジュール最適化・自動化	<ul style="list-style-type: none"> ● 作業員、車両、訪問先データを連携し、スケジュールの最適化、自動化をする ● 修理作業の時間を詳細に見積り、無理・無駄のないスケジュールを組む
007	修理実績データが生かされていない	005	消耗品自動発送	<ul style="list-style-type: none"> ● 消耗品をモニタリングする ● 自動で消耗品を顧客に発送する ● 消耗品データから在庫を最適化する
008	部品インベントリを自動化していない			

施策検討

データの収集

初期フェーズ

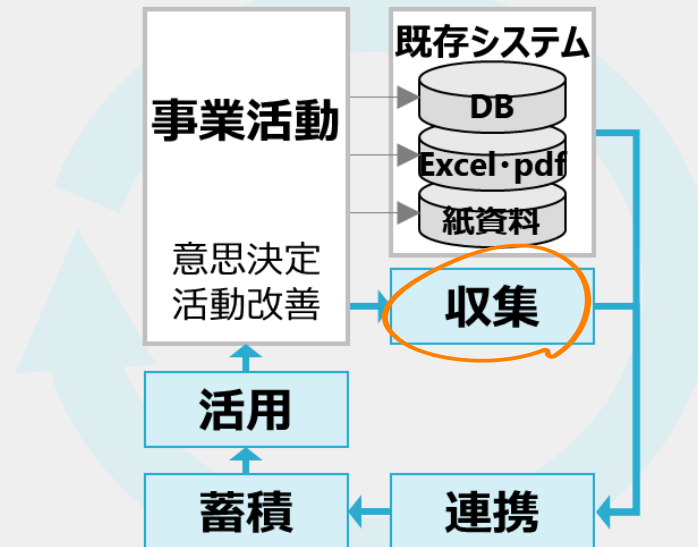
ビジネスアナリシス

- ツールや技術の導入から先行せず、業務ニーズや課題をヒアリング・整理。
- あるべき姿に向けた**ロードマップ**を描き、お客様に適したデータ活用サイクルをご提案。

中期フェーズ

データ活用サイクル構築

- 事業活動の結果を次に**フィードバック**。
- 持続可能な成長への**エンジン**。



最終フェーズ

データ活用トレーニング

- パナソニックグループで培ったノウハウを基に、お客様の社内人材による**データ利活用の自走**を支援。
- 事業活動を自ら改善していく**マインドを醸成**。

データドリブン組織

||
データ民主化
誰もがデータを
使える状態にある

×

文化醸成
誰もが自らデータで
意思決定を行える



初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

KEY POINT

鍵

機器稼働データや作業者の動きなどの **現場データ**も集める
事業活動に関する**データの不足**を解消する



IoTプラットフォーム

- IoTプラットフォームで、現場の様々な情報を**ノーコード・ワンストップ**で収集。
- **収集データを各種サービスと連携**することで 様々な情報の可視化・分析が可能。
- メッセージ通知や様々な機器の動作実行により **人に気づきを与える**ことも可能。

用途・業務に合わせた2製品をラインナップ


CUMULOCITY

- “**プロフェッショナル**”に使用できるIoTプラットフォーム。
- **製造現場**での使用に最適。
- PLCからのデータ取得などにも対応し、データ収集頻度や項目数も**業務に合わせて細かく設定**可能。

 Gravio

- “**ライト**”に使用できるIoTプラットフォーム。
- **施設**や**流通・小売店舗**などでの使用に最適。
- 貸与センサーも充実しており、**リーズナブルな価格**から**クイック**にご利用可能。

「Cumulocity」はCumulocity GmbH社の登録商標です。

「Gravio」はアステリア株式会社の登録商標です。

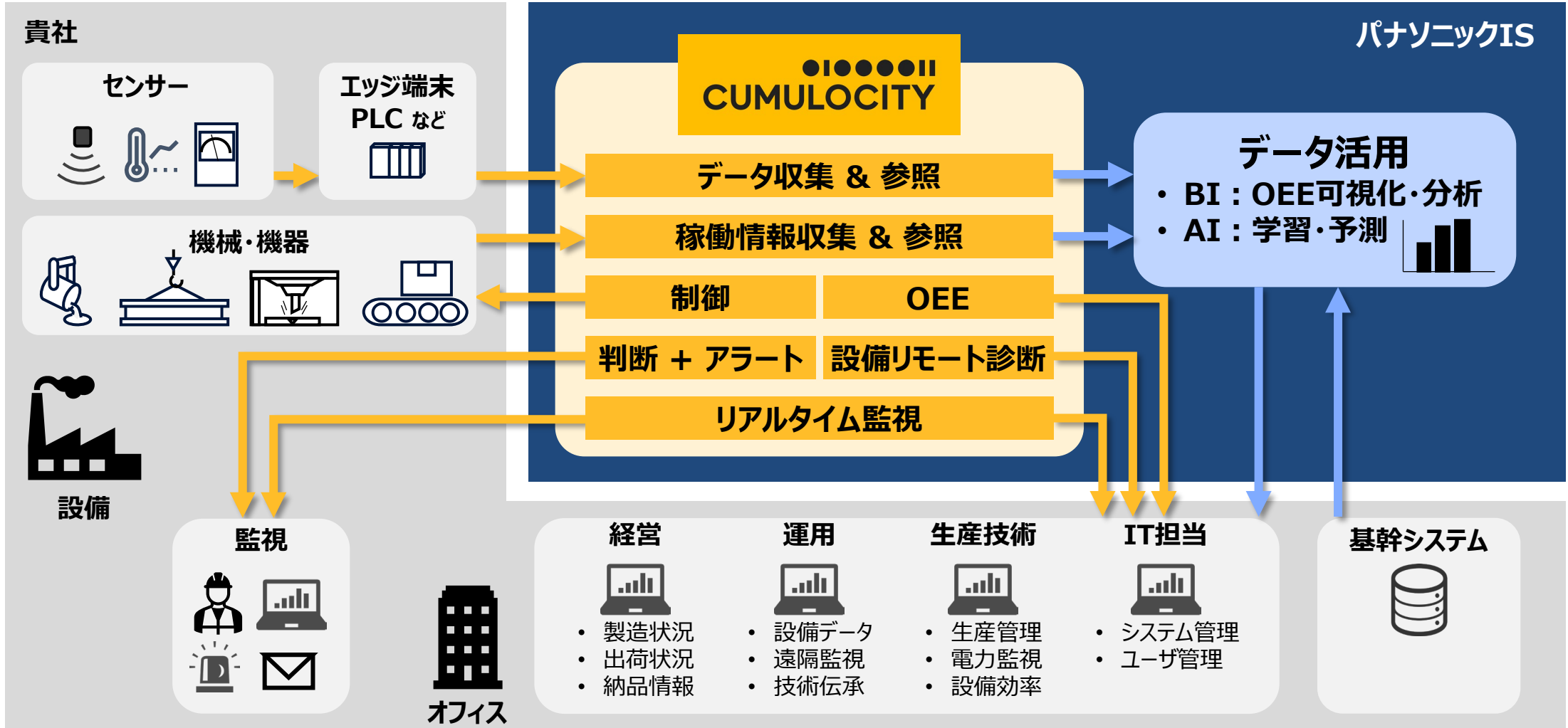
初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

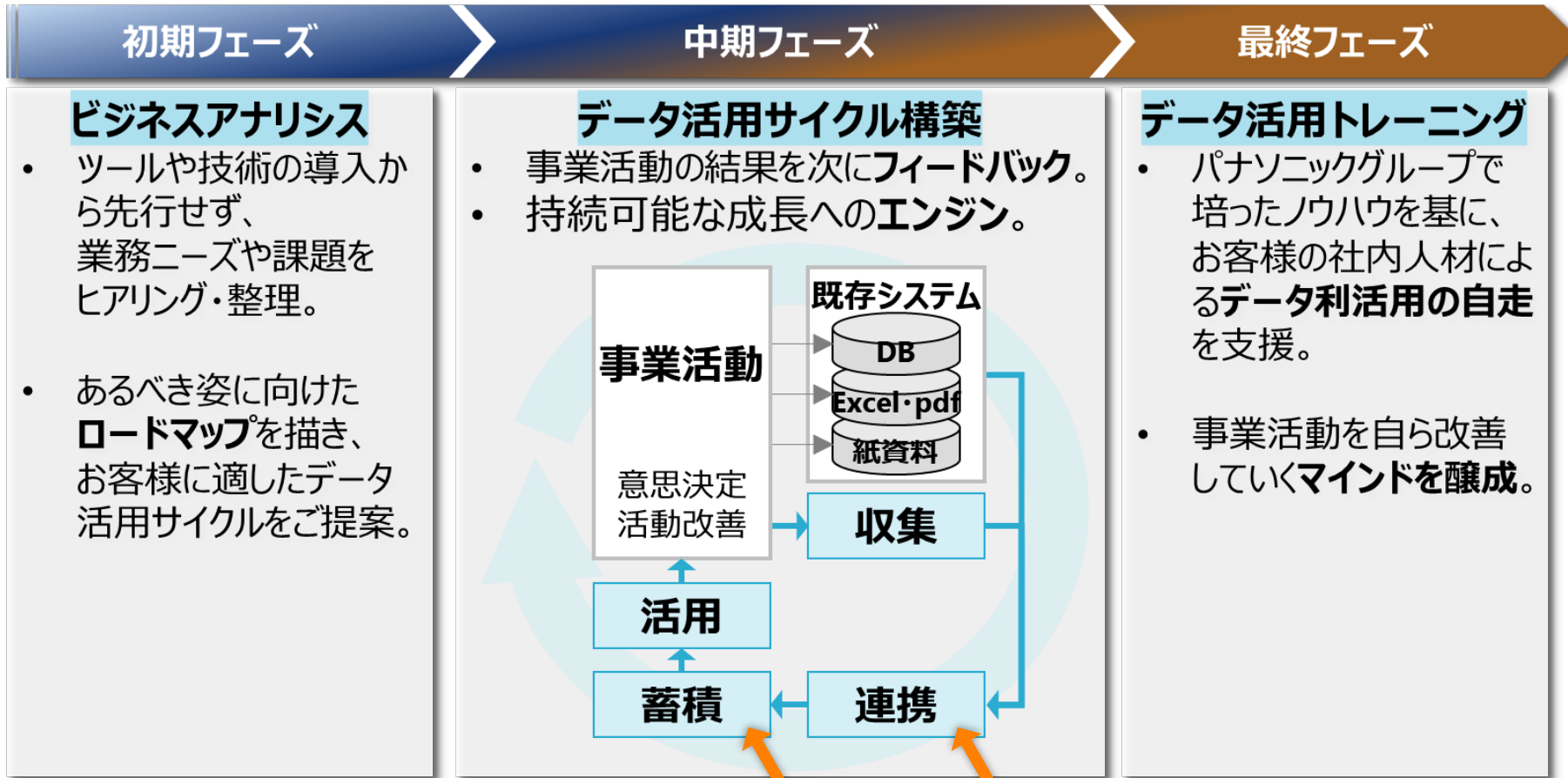
- 貴社への重要性・必要性も考慮しながら、豊富な機能を活用しスピーディに導入・検証を開始。
- 弊社のデータアナリストと連携し、効果的なデータ活用のご提案・推進まで可能。

- 初期フェーズ
 - ・ビジネスアナリシス
- 中期フェーズ
 - ・データ収集
 - ・データ連携
 - ・データ蓄積
 - ・データ活用
- 最終フェーズ
 - ・データ活用
 - ・トレーニング



OEE「Overall Equipment Effectiveness」: 総合設備効率/製造業における設備の効率性を評価するための指標。
「Cumulocity」はCumulocity GmbH社の登録商標です。

- データの連携には **Asteria Warp®** 導入を、蓄積には **データドリブン基盤構築** を支援します。
- 本日の講演主旨を鑑み、説明は割愛します。詳細ご説明をお求めの場合、別途ご相談ください。



データドリブン組織

||

データ民主化
誰もがデータを
使える状態にある

×

文化醸成
誰もが自らデータで
意思決定を行える

意思決定
データ分析

- 初期フェーズ
 - ・ビジネスアナリシス
- 中期フェーズ
 - ・データ収集
 - ・データ連携
 - ・データ蓄積
 - ・データ活用
- 最終フェーズ
 - ・データ活用トレーニング



「Asteria warp」はアステリア株式会社の登録商標です。データドリブン基盤は、パナソニックグループ内展開時のサービス名称です。

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

初期フェーズ

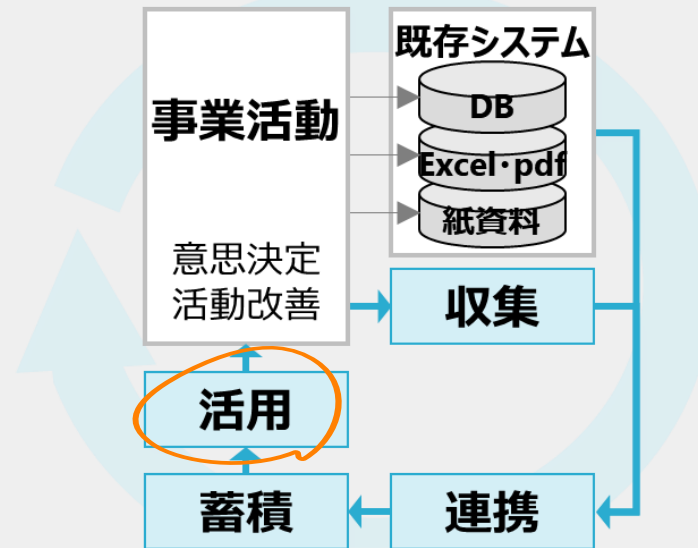
ビジネスアナリシス

- ツールや技術の導入から先行せず、業務ニーズや課題をヒアリング・整理。
- あるべき姿に向けたロードマップを描き、お客様に適したデータ活用サイクルをご提案。

中期フェーズ

データ活用サイクル構築

- 事業活動の結果を次にフィードバック。
- 持続可能な成長へのエンジン。



最終フェーズ

データ活用トレーニング

- パナソニックグループで培ったノウハウを基に、お客様の社内人材によるデータ利活用の自走を支援。
- 事業活動を自ら改善していくマインドを醸成。

データドリブン 組織

||
データ民主化
誰もがデータを
使える状態にある

×

文化醸成
誰もが自らデータで
意思決定を行える



KEY POINT

鍵

データ分析プラットフォームの構築：**すぐに分析を始める**
データアナリストによる分析支援：**自分たちのものにしていく**



DataVein

Do-It-Yourself-Analytics

データ分析プラットフォームの構築 + データアナリストによる分析支援で、データ利活用の現場定着をサポート

➤ 提供価値：**①** テクノロジー **②** ナレッジ&サポート

初期フェーズ
・ビジネス
アナリティクス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング



記述的
何が起きているか、何故起きたか

予測的
何が起きるか

処方的
何をすべきか

アクション・意思決定

各事業の現場で
データドリブン経営
の加速へ

セルフサービス型分析基盤 (ツール)

①

可視化・BIツール 例
+ a b l e a u + Power BI

統計分析ツール 例
Python R ANALYTICS POWERED BY sas

データドリブン基盤 ・ その他 関連基盤など

データ収集
CUMULOCITY

データ収集
Gravio

データ連携
Asterio warp

データ蓄積
DATA-DRIVEN PLATFORM

+

②
データアナリスト
によるサポート
分析技術サポート
分析テンプレート
教育サービス

※記載の各ツールはパナソニックグループでの一例です。ご依頼時は、貴社環境への構築/各ツールベンダーのSaaSサービスを組み合わせでの提供となります。
※「Cumulocity」はCumulocity GmbH社の登録商標、「Gravio」「Asteria warp」はアステリア株式会社の登録商標です。

ポイント：あらゆる業務領域の知見をカバー

10年以上／延べ100部門以上と連携し培った **豊富な分析テンプレート・ナレッジ** を保有

10テンプレート 200事例



10テンプレート 100事例



7テンプレート 20事例



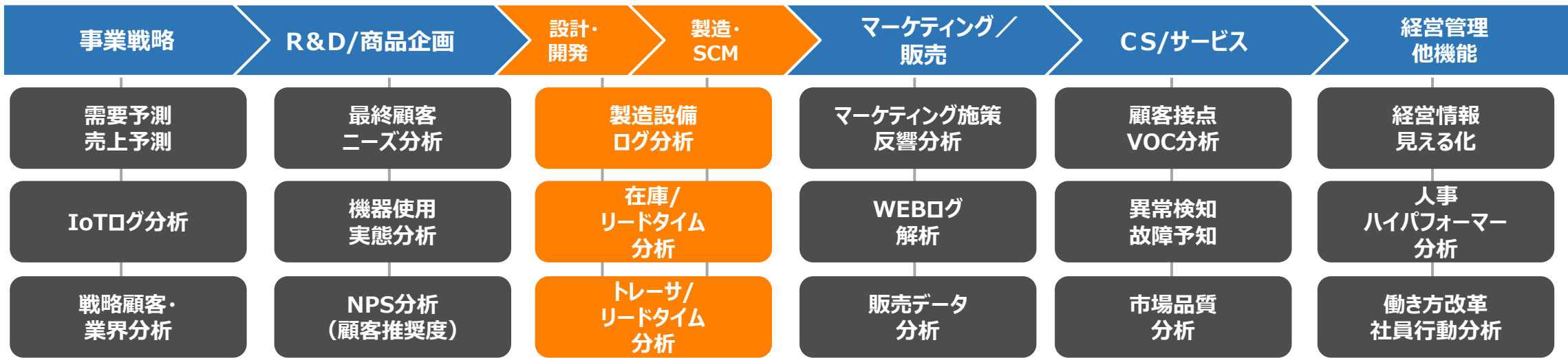
5テンプレート 10事例



初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング



様々な工場へ提供実績のある実用的なBIを、**テンプレート化**してご提供中

パナソニックグループ内向け サービス説明資料より抜粋

	テンプレートBI	お困りごと/ニーズ	出来ること	準備いただくデータ ※詳細はデータ定義書にて
品質	不良の見える化(全体)	過去の不良全体を様々な切り口で分析し、 根本対策 に繋がりたい	不良カテゴリ別、品番別等の切り口で、発生件数/頻度/割合等を分析	<ul style="list-style-type: none"> 不良情報データ 日時、工程名、担当者、不良内容、不良カテゴリ、修理内容、交換部品、部品品番、メーカー名など 生産台数データ 日別の生産計画、生産台数など
	不良・仕掛明細(全体)			
	不良の見える化(日々)	直近の不良状況分析と対応進捗を確認し、 PDCAを加速 させたい	直近(昨日発生や今週発生分)の不良情報および対応進捗/担当者を見る化	
	不良対応進捗見える化(日々)			
稼働性能	設備稼働・可動率推移	設備の稼働・可動率 を定量的に把握して、改善したい	設備の稼働・停止時間・可動率の推移を見る化	<ul style="list-style-type: none"> 設備生産情報データ 設備稼働情報データ 稼働状態、日時、停止原因など 勤務班情報 製品検査結果
	トラブル分析	稼働・可動の低下原因 を把握して改善したい	稼働阻害要因(設備トラブル)の発生状況を見る化	
在庫	在庫推移	在庫金額推移 を自動集計で把握したい	在庫金額と不移動区分(短期～長期)の推移を分析	<ul style="list-style-type: none"> 在庫高データ(+マスタデータ) 品番、金額、数量、仕入先名、担当者、保管場所、棚番、基準在庫数量 など 入庫、出庫データ：省略 将来所要・仕入データ：省略 不移動調査データ：省略
	品番別明細	長期間 不移動な品番 が知りたい	品番ごとの不移動月数や将来在庫高を表示	
	ロット別入出庫	滞留しているロット の購入時期や数量を、詳細も知りたい	ロット単位の入出庫・滞留状況を表示	

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス


中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

テンプレートBIサンプル動画。このようなBI群が導入部門でクイックに使えるようになる

パナソニックグループ内向け サービス説明資料より抜粋

- 初期フェーズ
 - ・ビジネスアナリシス
- 中期フェーズ
 - ・データ収集
 - ・データ連携
 - ・データ蓄積
 - ・データ活用
- 最終フェーズ
 - ・データ活用
 - ・トレーニング

	テンプレートBI	TOP画面			
品質	不良の見える化(全体)	はじめに  DIYA-MFGとは？(サービス紹介資料) BI操作説明 マニュアル BI画面 カテゴリ 品質 在庫 稼働・可動 リンク一覧 DIYA トレーニングサイト DIYA サービスサイト データ&アナリティクスソリューション本部 *データ更新日:	不良の見える化_全体	不良の見える化_日々管理	不良対応進捗ステータス見える化
	不良・仕掛明細(全体)		不良・仕掛明細	ComingSoon...	ComingSoon...
	不良の見える化(日々)		ComingSoon...	ComingSoon...	ComingSoon...
稼働性能	不良対応進捗見える化(日々)	ComingSoon...	ComingSoon...	ComingSoon...	
	設備稼働・可動率推移	ComingSoon...	ComingSoon...	ComingSoon...	
在庫	トラブル分析	ComingSoon...	ComingSoon...	ComingSoon...	
	在庫推移	ComingSoon...	ComingSoon...	ComingSoon...	
	品番別明細	ComingSoon...	ComingSoon...	ComingSoon...	
	ロット別入出庫	ComingSoon...	ComingSoon...	ComingSoon...	

※動画内のDIYAは、DataVein のパナソニックグループ内向け名称です。

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

初期フェーズ 中期フェーズ 最終フェーズ

ビジネスアナリシス

- ツールや技術の導入から先行せず、業務ニーズや課題をヒアリング・整理。
- あるべき姿に向けた**ロードマップ**を描き、お客様に適したデータ活用サイクルをご提案。

データ活用サイクル構築

- 事業活動の結果を次に**フィードバック**。
- 持続可能な成長への**エンジン**。

事業活動

意思決定
活動改善

既存システム
DB
Excel・pdf
紙資料

収集

連携

蓄積

活用

データ活用トレーニング

- パナソニックグループで培ったノウハウを基に、お客様の社内人材による**データ利活用の自走**を支援。
- 事業活動を自ら改善していく**マインドを醸成**。

データドリブン組織

||

データ民主化

誰もがデータを
使える状態にある

×

文化醸成

誰もが自らデータで
意思決定を行える

KEY POINT

鍵

貴社ご担当者への**分析自走化**を進めることで
「いつも現場に定着しない」「分析視点が古いまま放置される」を克服

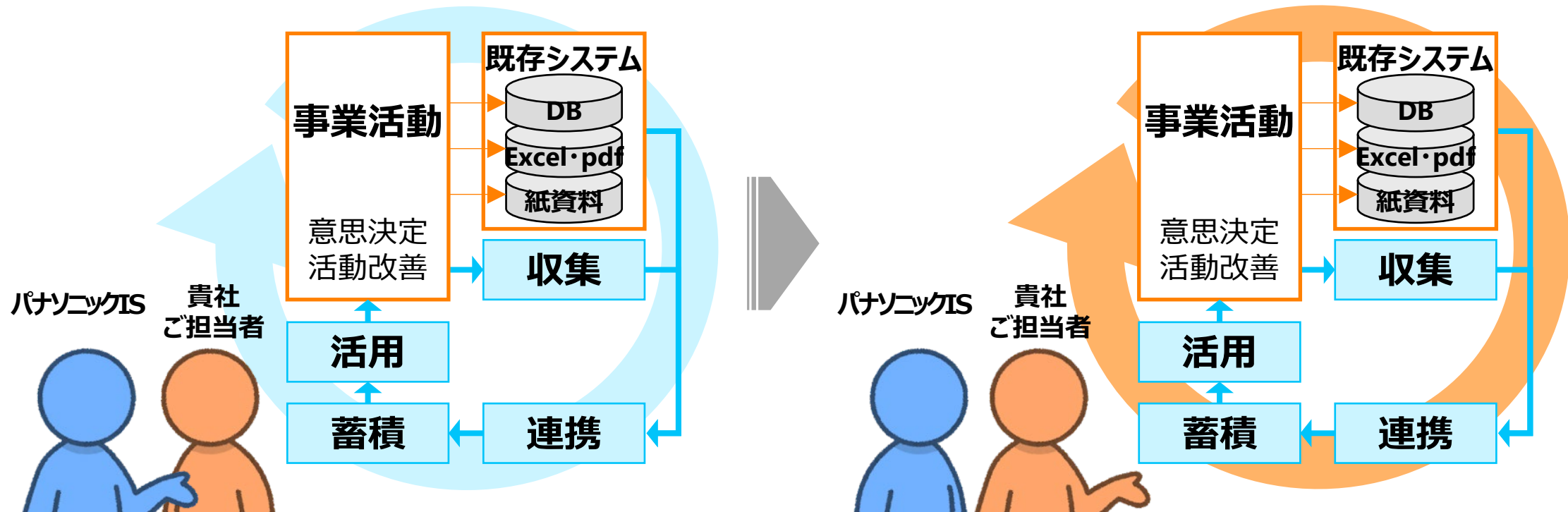
スタートはパナソニックISが伴走

徐々に貴社ご担当者へシフト

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング



日々の活用や軽微な分析改善は貴社ご担当者で対応しパナソニックISはより技術的なサポートに注力
分析が「分かる」人材を貴社に増やしていくことで**分析文化の醸成**に繋げていく。

自社内人材の分析スキル・リテラシーの向上によって **事業活動の改善が加速**
「自分達で改善していく」文化を醸成していく

例：データ分析ツール研修 を通じた体系的な学び

PowerBI 初級講座 の例

1日目（3時間）

0. 導入

- **データ活用・可視化の重要性**
- BIツールとPowerBIの位置づけ
- Power BI概要
- **活用事例紹介**

1. データ取込と可視化

- ローカルデータの取込
- リレーション
- 基本的な可視化

2. データ加工（基本）

- PowerQueryデータ加工
- クイックメジャー

など

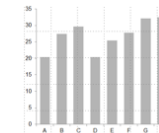
単なるツールの使い方だけでなく、
可視化の重要性やグラフの目的も講義

企業を持つデータが膨大になるにつれて、「データ可視化」の重要性は増えています。
数値データよりも可視化されたグラフから直感的にデータを示す意味を理解するほうが
簡単だからです。



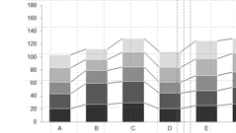
● 何が言いたいのか、というメッセージに応じて、適切なチャートを選ぶため、
頻出する典型的なグラフの形を学ぶ。

棒グラフ



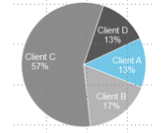
- 量の大小を比較できる
- 時系列の推移も表せる

積み上げ棒グラフ



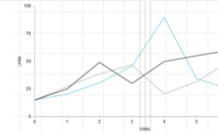
- 構成量を比較できる
- 時系列の推移も表せる

円グラフ



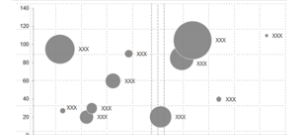
- 全体に対する各項目の
構成割合を示す

折れ線グラフ



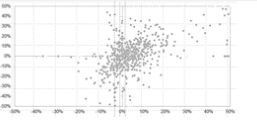
- 主に時系列の推移を示
すのに用いる
- 項目間の関連も表せる

バブルチャート



- 3つの軸を利用した比
較・分類が可能

散布図



- 全体の中でのある点の
位置づけを表現できる
- 縦軸変数と横軸変数の
関連を示せる

初期フェーズ
・ビジネス
アナリシス

中期フェーズ
・データ収集
・データ連携
・データ蓄積
・データ活用

最終フェーズ
・データ活用
トレーニング

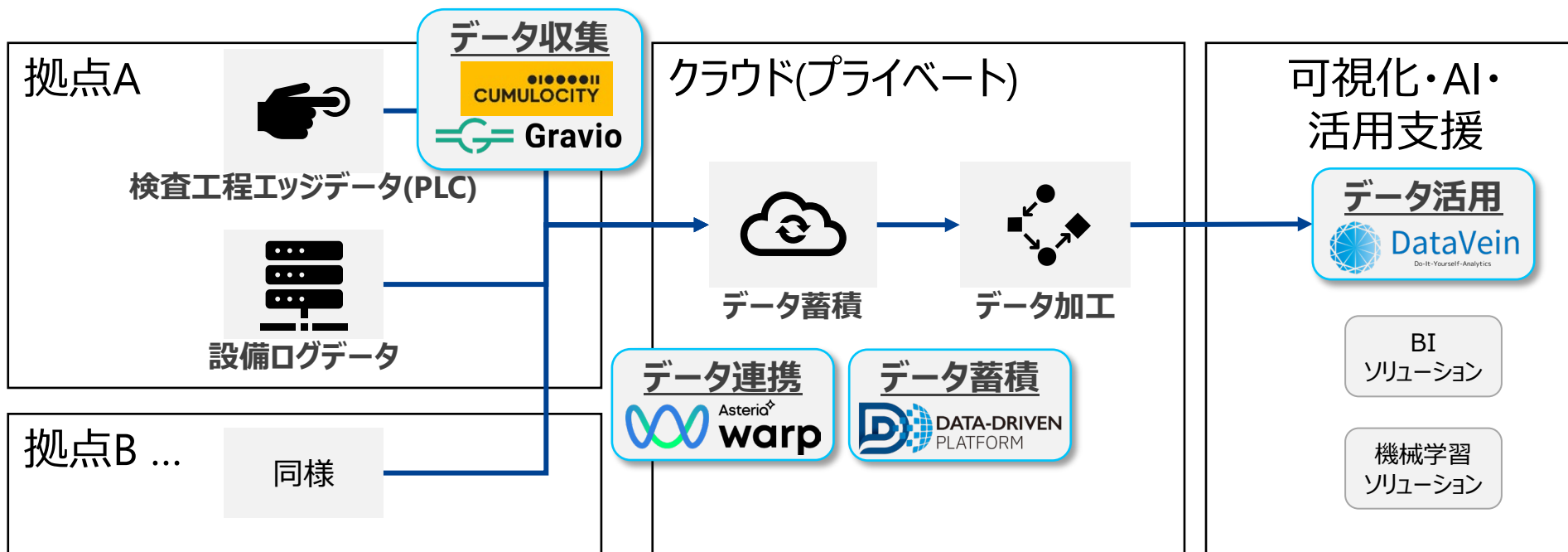
工場設備データを分析し 異常要因の特定・業務改善が可能な状態へ

提供
サービス

エッジデータ収集+データ蓄積+BI可視化で、各工程のKPIをモニタリングできる環境を構築。
KPI良化達成に向けた現場テーマ活動(例:ライン切替ロス低減)など、データを活用した成果
刈り取りまで伴走支援。

顧客社内イントラ環境

クラウド環境



アーキテクチャ
概要

KPI確認

経営会議・検
定型ダッシュ



非定型
アドホック



「Cumulocity」はCumulocity GmbH社の登録商標、「Gravio」「Asteria warp」はアステリア株式会社の登録商標です。

※実際の複数案件および各種紹介資料を元に構成。各ポイント間のファイアウォールやProxyは図から省略。

工場設備データを分析し 異常要因の特定・業務改善が可能な状態へ

提供
サービス

エッジデータ収集+データ蓄積+BI可視化で、各工程のKPIをモニタリングできる環境を構築。
KPI良化達成に向けた現場テーマ活動(例:ライン切替ロス低減)など、データを活用した成果
刈り取りまで伴走支援。

クラウド環境

可視化・AI・
活用支援

データ活用
DataVein
Do-It-Yourself-Analytics

BI
ソリューション

機械学習
ソリューション

アーキテクチャ
概要

KPI確認

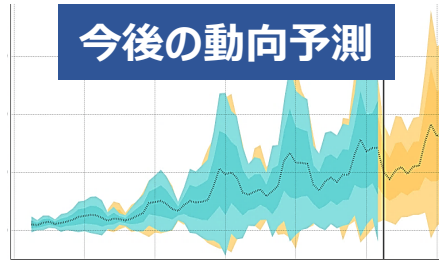
経営会議・検討会用
定型ダッシュボード



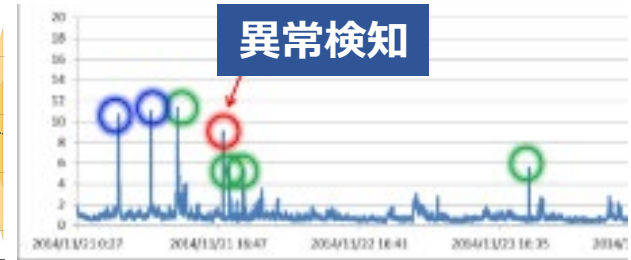
非定型
アドホック分析



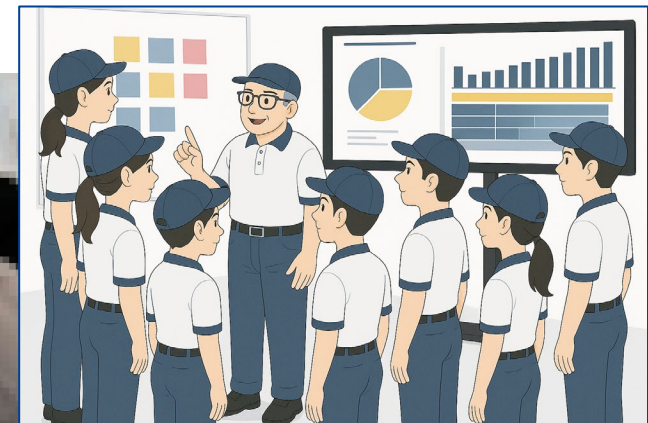
今後の動向予測



異常検知



現場に伴走(イメージ)



※実際の複数案件および各種紹介資料を元に構成。各ポイント間のファイヤウォールやProxyは図から省略。

もくじ

- はじめに：パナソニックグループの目指す「変革」と我々の役割
- 我々が経験してきた**失敗**事例、失敗から得た知見と**成功**事例*1
- 失敗を糧に作った**枠組み**：ビジネスアナリシス、データの収集、データの活用、トレーニング
- • **まとめ：データドリブン組織**実現に向けて

*1：実際の案件に基づきますが、情報保護の観点から、複数の案件を統合・一部内容を改変しております。

- パナソニックグループでの多くの失敗を通じて、真にデータドリブンな組織の在り方を明確に定義。
- 豊富な技術力・経験・ノウハウを持った専門家チームが、成果が出るまで徹底的に伴走支援します。

初期フェーズ

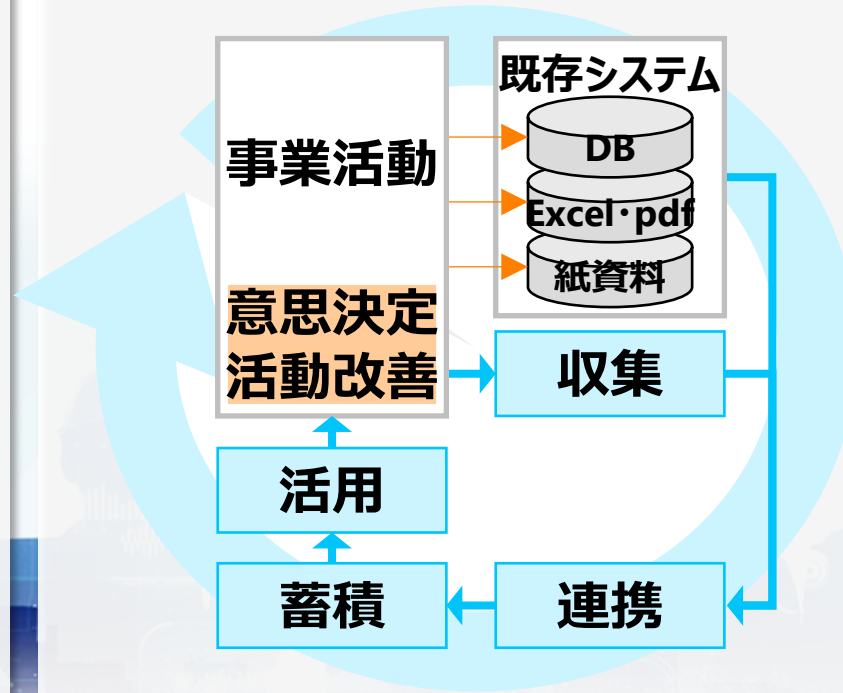
ビジネスアナリシス

- ツールや技術の導入から先行せず、業務ニーズや課題をヒアリング・整理。
- あるべき姿に向けたロードマップを描き、お客様に適したデータ活用サイクルをご提案。

中期フェーズ

データ活用サイクル構築

- 事業活動の結果を次にフィードバック。
- 持続可能な成長へのエンジン。



最終フェーズ

データ活用トレーニング

- パナソニックグループで培ったノウハウを基に、お客様の社内人材によるデータ利活用の自走を支援。
- 事業活動を自ら改善していくマインドを醸成。

データドリブン組織

データ民主化

誰もがデータを使える状態にある

×

文化醸成

誰もが自らデータで意思決定を行える



パナソニック インフォメーションシステムズについて

パナソニックインフォメーションシステムズのご紹介

一般市場向けビジネス

パナソニックグループでの挑戦を通じ、B2B市場へ価値を提供



パナソニック インフォメーションシステムズについて



パナソニックのITを 長年支えてきた実績

パナソニックグループのIT戦略企業として、グループ企業のIT化、DXを長年支援しており、製造業の業務理解とDX推進に自信があります



多様な業種への ソリューション導入実績

製造業だけでなく、自治体・学校や施設空間など様々な業種のお客様へ長年ソリューションを提供しており、伴走力に定評があります



ITインフラからAIまで あらゆるソリューション提供

企業様のITインフラからアプリケーション導入、AIを活用したソリューションの提供や従業員用端末まで、ありとあらゆる領域でお客様に貢献

データ分析ソリューションについてもっと詳しく知りたい方へ

お気軽にお問い合わせください

お問い合わせ

